

取り組み紹介書

施設 聖隷三方原病院看護部 ・訪問看護ステーション細江	職場 聖隷三方原病院看護部・訪問看護ステーション細江
-----------------------------------	-------------------------------

【タイトル】 病院から訪問看護ステーションへの長期出向事業で得られた成果

【課題】

- ・病をもって生活する地域住民を支えるために、病院看護部と訪問看護ステーションが協力してできることを行う必要がある

【目的】

- ・病をもって生活する地域住民が、安心して療養・入退院・受診できる環境を整える
- ・病院看護部と訪問看護の相互理解と連携強化
- ・地域を支える看護師を育てる

【方法】

2016年から開始し、今年度で三年目を迎える。毎年一名、病院看護師（看護部長が任命）が10か月～一年間、訪問看護ステーション細江に出向。

出向期間中、訪問看護師が実践するすべての業務を経験する。また、地域の社会資源（供託介護支援事業所・地域包括支援センター・通所介護など）や他病院の退院調整部門の研修・訪問看護師向けの研修に参加し、訪問看護業務だけでなく地域の情勢・時代の流れの中で看護師に求められているものが何かを考える機会を持つ。

2か月に一回は病院看護部・本人・訪問看護で連携会議を実施する。

出向後は、院内で地域との連携に関するシステム作りに参加し、院内の看護師教育に寄与する。

【結果・効果】

- ・訪問看護、病院看護部との相互理解と連携の深化
- ・聖隷三方原病院に受診・入退院する患者に対し、「困らない」「安心して療養できる」ためのサポートが充実
- ・訪問看護ステーションの教育体制改善（可視化・システム化）
- ・訪問看護ステーションのマンパワー確保
- ・病院看護部と訪問看護が協働し、「地域を支える看護師」の育成ができる

【事業団内外の表彰実績（表彰されている場合）】

- ・平成30年度日本在宅看護学会 第8回学術集会 ベストオーラル賞受賞

